

調査回収率の向上策について

1 設問数の縮減

(1) 設問数

こども、若者、保護者向け調査とも 40 問程度に抑える。

(2) 設問の表現

設問の主語を統一し、年齢に合わせた表現とする。

2 回答者へのインセンティブ

(1) 保護者・若者・高校生世代

回答完了時に 500 円分のデジタルギフトを配付する。

(2) 小学生（4～6 年生）・中学生

別紙イメージのとおり回答完了時にはねびよんのデジタルイラストを配付する。

3 インターネット回答フォームの活用

(1) 回答の進捗状況の表示

回答を進めるごとに残りの設問数を表示する。

(2) 設問に関する情報の提供

「こどもの権利について知っていますか」という設問に対して権利を説明しているホームページへのリンクや、「相談できる場所を知っていますか」という設問に対して相談窓口のホームページへのリンクなど、回答するだけでなくそれに関する情報も見ることができるようにする。

4 意見を反映した事例の紹介

調査依頼文を開封率が比較的高い A 4 版圧着郵便とし、表紙に上記 2 のインセンティブについて掲載する。併せて、これまでに意見を反映した事例を掲載し、回答することに意味があることを知らせていく。

5 多言語対応

英語の他、区で外国人人口の多い、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語及びネパール語の回答フォームを作成する。その他の言語については、回答者が使用するスマートフォン等の翻訳機能が利用できるようにする。

また、視覚障がいのある方向けに設問の音声読み上げ機能を設定する。